

令和元年度 第2回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：令和元年7月17日（水） 13：30～15：00

場 所：小山市健康医療介護総合支援センター 研修室2

出席者：塚田錦治委員長、佐田尚宏副委員長、渡邊カヨ子委員、高田純子委員、
岸野康之委員、片山照美委員

【新小山市市民病院】

折笠清美看護部長、坂田普事務部長、石橋英俊事務部副部長、阿部行博総務課長、
島田守医事課長、関彰経理課長

【事務局（保健福祉部健康増進課地域医療推進室）】

浅見貴幸保健福祉部長、室橋正枝健康増進課長、雲井富雄地域医療推進室長、
関口律子医療推進係長、鈴木香奈子主査

会議経過：

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議事

発言者	内 容
委員長	では、議事に入ります。議事の『(1)平成30年度業務実績に関する評価のまとめについて』事務局の方からお願いいたします。
事務局	資料8により、評価のまとめについて説明。
委員長	ありがとうございます。【1】年度計画に定められた項目に関する評価《小項目評価》を当評価委員会として決定していきたいと思います。小項目第1の(1)急性期病院としての機能の充実という項目でございます。法人評価は4となっておりますが、委員からは5という評価をいただいております。何かご意見はございますか。
委員	こちらに書きましたように、大きく評価しているということ以外はございませんので、全体的なご意見を伺えればと思います。
委員長	心配な部分もありますが、非常に充実しているということで、委員の中から、5という評価があつて、法人評価より評価が上がるということは素晴らしいことだと思います。他の委員の意見をうけて評価委員会としては4という評価でよろしいでしょうか。 続きまして(2)救急医療の取組みです。これも委員から非常にいいコメントをいただいておりますが委員ご意見をお願いします。
委員	委員長もコメントをされていますが、受入水準が最高位に達しているのではないかと高く評価しています。
委員長	受入水準は最高位に達している一方で、やはり受入きれない事例も発生していると思いますので、そういったものを課題としてクリアしていただければと思います。これも4の評価で決定したいと思います。よろしいでしょうか。 それでは(3)4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）への対応です。全員の方も法人評価も4ですので、4という評価でよろしいかと思いますが、何かご意見はございますか。

	委員からは質問のような形でコメントされていますが、市民病院からは何かございますか。
新市民病院	こちらは、化学療法というのがあげられます。やはり、乳ガンの治療件数が伸びていけませんので、その部分が伸びる部分かと思います。懸念すべき部分は、受入水準がマックスになっていることで医療関係者の疲弊というところが懸念されるかと思います。
委員長	がん治療というのは、進化のスピードがすごく早いですので、十分に先の先というのを捉えながら、やっていただけたらと思います。これも全員の一致ということで4ということに決定したいと思います。
委員	事務局に伺いたいのですが、今糖尿病の診療体制ってどうなっていますか？
新市民病院	糖尿病単独で入院するという事はないので、他の疾患で入られた患者さんのフォローを中心に入院のほうは対応していただいて、外来のほうは地域の医療機関でコントロール不良になった部分に関して、診ています。
委員	入院外来の比率は6：4くらいになっています。糖尿病の入院というのが、数は限られてくると思いますので、外来の強化というのが、新小山市民病院さんでは求められてくるのかと思います。よろしくをお願いします。
新市民病院	今後検討させていただきます。
委員長	それでは(4)小児・周産期医療の充実ですね。法人評価は3ですが、委員は4とされていますが、周産期における課題というのは開院当初から残っていることでまだクリアされていない。しかしながら努力はされていますので、3という評価でよろしいかと思います。 続きまして(5)災害時における対応ですね。法人評価は3です。何かこれに関して、ご意見ございますか。
委員	一点、事務局に、私の書いた文書のローカル DMAT の充実是最適解でないに見えると思いますが、私のほうは、最適解でないか見えると書いたのですが、訂正をお願いしたいと思います。
事務局	申し訳ございません。
委員長	災害時における対応というのは、課題が山積みで、市民病院に係らず地域における多職種、含めてなかなかスタートしきれていないのが現状かと思います。できればそれぞれの組合において行政の方々にご協力いただきながら、一つ一つすすめていけたらと思います。これも評価は3としたいと思います。 それでは(6)感染症医療の対策です。これも法人評価、委員評価ともに3で一致しておりますが、委員、何かご意見ございますか。
委員	感染防止対策については様々経費がかかるとは思いますが必要経費ということで今後とも継続してほしいという思いで書きました。以上です。
委員長	引き合いに出すのも恐縮ですが、獨協医大でノロウイルスの院内感染がありまして、非常に深刻なダメージがありました。その後かなり力を入れて改善されていますが、明日はわが身ということで、緊張感をもって取り組んでいただきたいと思います。これも法人評価は3、委員評価も3ということで一致しておりますので、3で決定したいと思います。 続きまして(7)予防医療の充実ということで、法人評価は4ですが委員の評価は3.8となっています。委員は3という評価ですが、いかがですか。
委員	全体としては4でいいかと思いますが、一部計画を下回っているところがあったので、少し厳しいかと思いましたが、3とつけました。

委員長	他何かございますか。
新市民病院	<p>まず、心臓ドックになりますが、心臓ドックのご案内のパンフレットになりますが、一つには当病院の循環器医師の問題とも言えますが、心臓ドックを受ける時に項目の中の一つでも該当する場合は、先に循環器内科を受診されたほうがいいなっており、それで検診は受けずに、受診をする方が多いです。また、造影剤アレルギーのため受けられない方が多いです。</p> <p>もうひとつレディースドックにつきましては、一つには、企業側の助成制度がありまして、残念ながらレディースドックに対して助成をしている保険者が少なく、人間ドッグのオプションとしてレディースドックを受ける方が多いので、今後オプションとしてどうですかと進めていきますが、結果として、レディースドックが少なくなっている現状です。</p>
委員長	今のお話を受けて、医師会の中で産業医というのがあって、様々な企業との橋渡しができるのかなと思いますので、病院として、積極的に集客を考えているのであれば、医師会としても協力できるところは協力していきたいと思います。
新市民病院	ありがとうございます。
委員長	<p>続きまして（８）安全安心な医療の提供になりますが、法人評価、委員評価ともに３となっております。委員から、非常にいい意見をいただいておりますが、このようなことは、評価委員会まであげていただいて、それが正論か正論でないかは別として、患者からはこんな意見があるんだと、我々が知るということは非常に有意義になると思いますので、今後をご検討いただければと思います。それでは、法人評価、委員評価共に３になりますので、評価は３とします。</p> <p>次の医療提供体制の充実の中の（１）優秀な医療スタッフの確保ということで、委員評価は３.８となっておりますが、何かございますか。委員から何かございますか。</p>
委員	<p>前回もお話しましたが、働き方改革もありますが、大学病院で勤務をして、そこでキャリアを積み上げていくキャリアの定まったドクターと、開業医としてキャリアが定まったドクターがいる一方で、腰が定まらないドクターが全国的に非常に多いのに驚かされます。地方のそこそこ有名な大学病院の副院長でもそういった方がおられますので、小山は交通の要所であり、上へも下へも非常にアクセスがよく、医師にとっても教育環境の得られやすい場所にありますので、様々な医師の受け皿として労務環境を整えていただくということは重要だと思います。</p>
委員	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>医者というのは特殊な職業で、労務環境などですが、不平があつて文句を言ってそれがかなわないとやめていってしまいます。自治医大も例外ではなく、病院自体で、やりがいや快適な労務環境の部分など、是非考えていただければと思います。</p>
委員長	医師以外の優秀なスタッフの育成については、手を尽くしておられると思いますが、全体としては法人評価とほとんどの委員の意見が４ということで一致しておりますので、いいかと思います。
委員	スタッフの確保の件で、３と出しました。状況は詳しくはわからないので、同様に３と出しました。一市民として、医者等の確保を出来ても定着できているのかと思いますので、例えばやりがいとか生きがいを職に求める方は、教育・研修の確立したものがあれば、もう少し、医療従事者の確保・定着がなされると思いますので、３と出させていただきます。

<p>委員長</p>	<p>法人評価は4となっておりますので、病院全体の取組としては研修などには力を入れている印象はあります。ただ、今の新小山市民病院が目指しているレベルになると、どなたでも起用していくということではないですから、ラインは下げられない。なおかつ委員がおっしゃった、引き上げるという体制も必要だと思います。法人の意見が4ということと、おおむね委員の方の意見も4になりますので、4とさせていただきたいと思います。</p> <p>続きまして(2)人材の育成ですね。これも連動するのですが、法人評価は3、委員の評価も概ね3ということで、かなりしっかりと全員で納得しているところなのかと思いますが、この間理事長が、あと一人で研修医指定が受けられるとおっしゃっていましたが、研修医指定を受けると、教育・研修が充実してきて、ただ研修医が集められるということではなくて、次の新しいレベルに引き継いでいくことになりますので、なんとしても研修医指定は取っていただければ、評価として限りなく4に近づくとと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>人材育成で様々な研修に出していただいているというのは、非常に評価できると思うのですが、研修修了者がどのくらい組織貢献しているのか、例えばチーム医療の役割を担って診療報酬に繋げているとか、研修に出すことではなくて、どのくらい組織貢献をしているかなので、来年はその部分を出していただければ4にしたいなと思いました。</p>
<p>新市民病院</p>	<p>ありがとうございます。当院は認定看護師が11名居りまして、特定行為研修を自治医大でお世話になり、研修修了者が5名居ります。来年はガン専門看護師が1名出て来ます。そんな状況の中で、一番患者さんに還元したいことで、看護訪問というのがあります。うちは訪問看護ステーションがないものですから、安心して訪問看護ステーションにつなげられるように認定看護師等は去年の2月から看護訪問を実施しております。また、特定行為に関しては230件ほど行っており、目的は医師の仕事を楽にするということではないのですが、お互いにチーム医療として、例えば、特定行為を受けた看護師が器官カニューレを交換したり、ドレンの除去を行ったり、今までは医者の手が空くまで何時間も待っていたので、特定行為研修を受けた看護師が行うことで患者さんに還元できていると思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>理学療法士さんは何人くらいおられますか？そこそこの数居られると思いますが、例えば、先の先を見据えてということで、現在参議院選挙が行われていますが、比例区の全国区では医療界からも色々な方が立候補されています。今回の選挙は理学療法士の方が立候補されている。その方が目指すところは、開業を目指しているようで、保険診療の範囲内で開業をする、そういったことが現実的になった時には、お互いに引っ張り合いになるということ、念頭に置きながら実施していただければと思います。これについては、法人評価、委員評価がほぼ一致しているということで3で決定したいと思います。</p> <p>次に3、患者・住民サービスの向上(1)患者中心の医療ですが、なかなか自分達の口からは良い点数はつけられないと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>これは、先ほど安心安全な医療の部分でも申し上げましたが、患者からの苦情を数字として把握できているというのは必要ではないか。いつでも情報をつまびやかにしておくというのがこの世界で必要なのではないか。</p>
<p>新市民病院</p>	<p>入院患者さんについては、退院時に必ず満足度調査を実施しておりまして、患</p>

	<p>者さんからのご意見、医師や看護師に対しても含めて病院で共有するようにしています。そこで、お茶をつけてほしいとか、お風呂を男性、女性の日を別にしてほしいとかは改善事項として実施しました。外来の患者さんについては、年に2回くらいしかありませんが、患者さんのお声を聞いています。また、ご意見箱を用意しており、その部署だけで解決しないほうがいいものについては病院のほうにあげてみんなで検討しています。</p>
委員長	<p>私は運営委員会にも出させていただいて、そこには色々な意見があがってきていると思いますが、そこまで細かくなくても、評価委員会もあげていただければと思います。これも法人評価と委員評価がほぼ一致しておりますので、3で決定したいと思います。</p> <p>次に（2）快適な医療環境の充実ということでいかがでしょうか。</p> <p>ついつい、以前と比較してすごくよくなっているのですが、評価を高くしてしまうのですが、逆に事務局でこの点で足りないなと思っているところはありますか。</p>
新市民病院	<p>設備環境で、特に入院患者さんがWiFi環境を整えてほしいという要望はございます。他の病院も視察して検討しています。やるとしたら外来からやるということを検討しています。</p>
委員長	<p>これも3という評価で決定したいと思います。次に（3）ですね。患者満足度の向上ですね。</p> <p>いくつかいままでと近い部分もあると思いますが、委員のほうから何かありますか。</p>
委員	<p>コメントに書いてあることですが、満足のパーセントにこだわることなく、不満や苦情など、一生懸命文字で書いてくれたことを大事にすることが必要なのではないかと思います。</p>
委員長	<p>一つ一つの意見を大切にしなければいけないですね。これも評価は3にしたいと思います。それと（4）職員の接遇ですが、法人も4ということですが、委員から若干厳しい評価になっていますがいかがでしょうか？</p>
委員	<p>法人と同じ3にさせていただきました。先ほどの満足度のところと繋がるのですが、病院の中で何も問題が起らない時はいいのですが、何か起きた時にどう対応していくかが病院の評価につながると思います。そこで病院が出した答えをきちんと患者さんに示していくことが今後の病院の課題かと思います。快適な環境というのはハード面、ソフト面色々あると思いますが、どんな環境での入院を希望するかだと思います。入院した経験があるので、よくわかります。きちんと看護されたいと思ったことがありますので、そこを整えていただければいい環境なのではと思います。</p>
委員長	<p>一部資料の点数に誤りがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>事前配布の資料では、法人評価は3となっておりますが、本日、変更したものに差し替えさせていただいております。</p>
委員長	<p>委員長としてお詫び申しあげますが、資料の差し替えがありましたので、差し替えのものを参考にお願い致します。</p> <p>しかしながら、もっともなご意見で、私も入院したこともありますので、まさにおっしゃるとおりですが、私は以前と比較してしまい、評価があまくなってしまうのですが、委員の方の意見が概ね一致していますので、4という評価でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次に移ります。3患者・住民サービスの向上の（5）ボランティア制</p>

	<p>度の活用になります。これはいかがでしょうか。皆さん3ということで一致しておりますので、3ということで決定したいと思います。</p> <p>(6) 病院情報の発信ですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私のコメントですが、プラス効果になります。様々な情報が重要だと思っていて、例えば人材確保についてもまずは情報を取ること。ツールは色々ありますが、努力していると思います。皆さん3ですので3でいいです。</p>
委員長	<p>こういう時代ですので、ありとあらゆるツールがありますので、そういうアンテナをもっているのがすごく重要だと思います。</p> <p>次に4地域医療連携の強化(1)地域医療機関との連携と(2)地域包括ケアシステムの推進です。こちらはまとめて評価をお願いします。</p> <p>地域医療機関との連携というのは、私医師会長としての立場では、5としてもいいくらい、昔との比較ということだけではなく、非常によく噛み合っていると思います。情報交換もすごくうまくいっていますし、完結型医療の会、おそらく毎月2、3回は勉強会を行っていて、患者の紹介・逆紹介も目標を達成されていますので、色々な連携というのが大事だと思います。他職種との連携も重要だと思っています。</p>
新市民病院	<p>地域の訪問看護ステーションとオニオンリングの会で3ヶ月に1回勉強会をしています。14病院の連携協議会の看護協議会ですが、当院の認定看護師が必ず自分の活動を伝えて、もしそれぞれの病院で活かせるものがあれば呼んでくださいということで色々な病院に呼ばれてやっております。特に感染とかですが、非常に大事なことで、地域全体がよくなればと思っておりますし、非常に顔が見える関係になってきていて、連携がスムーズにいったなというのが、感じるところです。</p>
委員長	<p>地域医療の連携に関しては4ということで決定させていただきます。</p> <p>次に(2)地域包括ケアシステムの推進ですが、委員からご意見をいただいておりますけれども何かございますか。</p>
委員	<p>地域包括ケアシステムの推進ですが、我々自治医大も下野の中でどういう風に関わっていくかを考えている。小山の中では市民病院が中心になっていくので、どういう活動をされていくのかということに興味があったので、コメントさせていただきました。</p>
新市民病院	<p>地域包括ケアシステムとしての活動としては医療と介護の連携をした勉強会を、委員長のほうで主催していただいています。病院の職員と介護の職員が研修をしている、そこを盛んにしていくのが今後の課題。薬局も介護の人達と勉強会をしていくというのを企画しています。そこに市民病院もどのように関わらせるかというのが、課題となっています。</p>
委員長	<p>これができる、あれができるというのが、まだまだたくさんできることはあると思うので、評価としては3とします。</p>
委員	<p>例えば、民間の医療グループは独自に地域包括ケアシステムということで病院を核に独自に作っていますが、国公立の病院については、そのシステムの中にあるべきであるのに、そこにあるという意識が非常に薄い。上から見ると地域包括ケアシステムの重要な一つをすでに成して、これから何かを作らなければならないということではないです。紹介患者さんを受けて返していますので、ゆっくり上から地図を見てみて、小山市民病院がどこでどんな機能していて、何が不足しているか探されたほうが自然に必要なものが見えてくるのではないかと思</p>

	います。
委員	私は職を持っていて、ケアマネジャーと障がい者の相談支援をしております。地域包括ケアシステムは研修の中でも国の施策の中でずいぶん前から言われていますが、そこがなかなか進まない中で、医療と介護の連携と大きく言われているのですが、地域包括ケアシステムを進めるにあたっては連携室の活用が重要な要とっておりますので、地域とつなぐ、ケアマネジャーとつなぐ、患者さんを地域に戻すその部分について、お聞かせいただければと思います。
新市民病院	当院には患者支援センターというものがありまして、そこで患者さんを地域にお返しする、ケアマネジャーと連携するというのを進めております。
委員長	<p>今度、旧小山市市民病院の土地に友志会さんが100床のリハビリ病院が再来年あたりに完成しますが、医師会としてもきちんと推薦していきますので、最初に行き違いの無いように、お互いの領域でうまく連携ができるといいなと思っております。ここは、評価は3としたいと思います。</p> <p>次に5信頼性の確保（1）診療の質・サービスの改善、（2）法令等の遵守と情報の開示ですが、全員一致で3ということですが、委員のおっしゃる診療の質をどのように担保するかというのは非常に重要な課題ですよね。診療に関わらず、医療全体の質ですよね。倫理に関する課題の検討部分については、いかがですか。</p>
新市民病院	倫理に関しては、今までもあったんですが、活動していなかったんで、倫理委員会を実のある倫理委員会にしていこうということで、今年から啓蒙しています。課題としてはDNRを医者はそれぞれの解釈で使われています。そういったところを一致させながら検討いこうと思っております。
委員長	コンプライアンス、ガバナンスについても時代的な課題が山積みだと思っております。
新市民病院	まずはコンプライアンスの研修につきましては新採用研修、管理者研修、評価者研修、個別には個人情報、守秘義務の研修も行っています。これからは就業規則の研修も行うことで定期的に研修は行っています。
委員長	<p>それではこの評価については3としたいと思います。</p> <p>次に第2業務運営の改善及び効率化に関する事項、1管理運営体制の強化については、これに関して、法人評価は3、委員の評価が3.3となっております。</p> <p>管理運営体制はかなり強化されていると思っておりますが、3にとどまった理由はどのようなことなのでしょう。</p>
新市民病院	院長がいないのでコメントしづらいですが、コーチングというのを書かせていただいておりますが、自立的な組織というのを作り上げていこうというのが院長先生の理想で、毎年毎年浸透するまで努力していこうということで当院としては成長する余地があるのではないかとということで3とさせていただいております。
委員長	僕が4という評価をしたのが、コーチングに関しては、理事長自らが受けられて継続しているということでその姿勢そのものが管理運営体制が強化されていると評価したので4という評価をしました。委員はいかがですか。
委員	主観的な意見ではございますが、色々な病院を見ていると事務部門と医療部門が仲が悪かったり、意見が合わなかったりする病院が多いのですが、事業報告であったり、前回の評価委員会でも新小山市市民病院は受け答えが、事務部門、医療部門がスムーズに出てくるところが、事務部門と医療部門がよく話し合って密接にやられているなど感じています。

委員長	更に運営体制の高みを目指していただければと思います。3ということで決定したいと思います。
委員長	僕は運営委員会に出ているのですが、スタッフが非常にみんなで一つの課題を一緒になってそれぞれの立場で考えるという管理体制は素晴らしいと思っておりますので、副委員長からも4でいいのではないかというお話がありましたので、評価委員会として4としたいと思います。
副委員長	4の上は5がありますからね。
委員長	そうですね。次に2働きやすい病院づくり（1）人事考課制度の充実ですね。これに関して、私も4とつけましたけど、皆さんの意見から3でいいかとも思いますが特に付け足したいとか今後の課題として言っておきたいことはございますか。
新市民病院	人事評価に関しましては昨年度からコンサルが作った評価制度を職員自らが見直しまして、新たな評価項目について、コンサル会社にも来てもらっていますが、人事評価を行う評価者研修を重ねていって精度を高めています。今年度からわずかではありますが、ある意味合理的な差をつけて、賞与に反映させたいと思っています。
委員長	それでは3ということで決定したいと思います。次に（2）働きやすい職場環境の整備も3ということでいいと思いますが、委員のほうから働き方改革についての早急な対応が必要とご意見がございますが。
委員	この問題は我々の病院でも解決できていないところではあり、人事評価のところと重なるところがあるのですが、医師の働き方改革ということで、時間ではかかるのが難しいところがあって、医師の場合は手術は3時間で終わると5時間かけるのでは、5時間のほうが、時間外勤務手当が多くなるというのがあります。働き方というのをどのような形で提示していくかというのが、働き方改革の中で重要になってくると思います。そういったところをご検討いただければと思います。
新市民病院	関連法案のところからいくと、勤務時間やインターバルの問題とか、労働局、コンサル会社、社会労務士等と検討しているところであり、労働生産性という新たな観点から進めていくことを検討しています。
委員長	これから色々な形で進めていかれると思います。ここは目を離せないと思います。評価は3ということで決定したいと思います。 続きまして、第3財務内容の改善に関する事項、1経営基盤の維持と経営機能の強化になります。法人評価、委員評価が一致していて4ですが、何か追加することはありますか。 前回委員のほうから、独法人化された病院の中で真ん中くらいの順位というお話があったかと思います。
委員	前回、事務局のほうから独法化病院全部比べるとまだ真ん中に至っていないと言われたかと思います。
新市民病院	単年度の収益性というところで見させていただくと独法が約90病院ある中で10本の指に入る収益性となっています。ただ、スタート時点がゼロだったため、経営の安定性を示す、貸借対照表の資本の蓄積ですとか、現金預金の部分で、90病院中、法人にしてみると50ぐらいある中で、新小山市市民病院は30位くらいにきたかというところですよ。まだまだこれから資本の蓄積などは確実にやっていかなければいけないところです。

<p>委員長</p>	<p>知識の共有をしたいと思います。独法化病院は90ある中で、単年度の医療収支という比率で見ると10本の指に入るのだけど、ただスタート地点がゼロだったので、蓄積の部分では安定的な経営基盤ということには至っていないということですね。でもいいことですね。評価としては4とさせていただきたいと思います。</p> <p>次に(2)費用の節減は、法人評価は3、委員評価は3.2となっています。法人がおそらく3としているということは、まだまだ自分達でできることが見えていると思いますので、評価は3としたいと思います。</p> <p>次に第4その他業務運営に関する重要事項として、小山市地域医療推進基本計画に対する取組ですが、法人、事務局ともに評価は3なので、3で決定したいと思います。</p> <p>これで、全項目の評価が終わりましたので、今までのところを事務局からまとめていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご審議いただきありがとうございます。それでは、評価について事務局からお伝えします。</p> <p>まず、1ページの第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項、1良質で安全な医療の提供の(1)急性期病院としての機能の充実は4、(2)救急医療の取組みは4、(3)4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)への対応は4、(4)小児・周産期医療の充実は3、(5)災害時における対応は3、(6)感染症医療の対策は3、(7)予防医療の充実が4、(8)安全安心な医療の提供は3、2医療提供体制の充実、(1)優秀な医療スタッフの確保は4、(2)人材の育成は3、3患者・住民サービスの向上、(1)患者中心の医療は3、(2)快適な医療環境の充実は3、(3)患者満足度の向上は3、(4)職員の待遇向上は4、(5)ボランティア精度の活用は3、(6)病院情報の発信は3、4地域医療連携の強化、(1)地域医療機関との連携は4、(2)地域包括ケアシステムの推進は3、5信頼性の確保(1)診療の質・サービスの改善は3、(2)法令等の遵守と情報の開示は3、第2業務運営の改善及び効率化に関する事項、1管理運営体制の強化は4、2働きやすい病院づくり(1)人事考課制度の充実は3、(2)働きやすい職場環境の整備は3、第3財務内容の改善に関する事項、1経営基盤の維持と経営機能の強化は4、2収益の確保と費用の節減、(1)収益の確保は4、(2)費用の節減は3、第4その他業務運営に関する重要事項、小山市地域医療推進基本計画に対する取組みは3となりました。まちがいはございませんでしょうか。</p> <p>それでは次に大項目の評価に移りたいと思います。まず第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項は20項目ありまして、平均は3.35になります。次の大項目、第2業務運営の改善及び効率化に関する事項は3項目ありまして、平均は3.33となります。次の大項目は第3財務内容の改善に関する事項は3項目ありまして、平均は3.67となります。最後の大項目、第4その他業務運営に関する重要事項は1項目なので、3となります。この大項目評価はS、A、B、C、D、Eの5段階評価となっております。例えば、3.5~4.5はA評価、2.5~3.5はB評価となります。大項目の平均点を5段階評価に当てはめてみますと、第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項は、平均点が3.35ですので、B評価となります。次の第2業務運営の改善及び効率化に関する事項は平均点が3.33です</p>

	<p>ので、B評価となります。次に第3 財務内容の改善に関する事項は平均点が3.67ですので、A評価、最後に第4 その他業務運営に関する重要事項は平均点が3となりますので、B評価となります。このような形で大項目の評価をつけさせていただきます。この結果を踏まえまして、5ページの財務諸表に係る意見や全体評価についてご意見をいただければと思いますので、よろしくお願ひします。なお、財務諸表については、経営財務体制についてご意見をいただくと共に適正についてご審議いただければと思います。</p>
委員長	<p>それでは、財務諸表について審議を行いたいと思いますが、まず適正のところについて、委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>提出された資料だけでは細かいところはわからないですが、この資料を見る限り、不明な点はないかと思ひます。</p>
委員長	<p>委員はいかがですか。</p>
委員	<p>公開基準に沿って適正に作られていると思ひます。</p>
委員長	<p>そういったことを踏まえまして、財務諸表について委員の皆様からご意見はございますか。 委員何かございますか。</p>
委員	<p>これまでも国公立というのは一応外部の目に晒されていますけど、これは議会民主主義のもとで晒されていますが外部から評価を受けるということではありません。地方独法というのはオープンにできておりまして株式会社のように、外部評価を浴び続けている。このように評価をされて、かなりクリアに見える団体となっています。かなりオープンに運営されているので、気をつけていただきたいのは、読めない業績の波を作っていくとストレスになってしまうので、常に少しずつ成長するというイメージをもって予算組みに当たってほしいと思ひました。</p>
委員長	<p>他に何かございますか。委員がおっしゃった6年連続の黒字経営は本当にすばらしいと思ひます。行政そのものが結構変わっていますので、今が非常にいい状態なので、どうやって救急医療を充実させていったらいいとか常に気を配っていないと、特に経営というところで大変になってしまうかと思ひますので、この地域は医療圏としては充実した地域になりますので、特殊な事情なんですけど、そういったことに細かく気を配りながらやっていこうと思ひますので、よろしくお願ひ致します。これは点数とかではないですね。</p>
事務局	<p>点数ではなくて、言葉で評価していただければと思ひます。</p>
委員	<p>病院と医療だけで300床が今年度スタートしていますが、医療だけで300床やっていくのは非常に大変な状況だと思ひます。身近な大きな病院は色んな事業をやっています。宇都宮の宇都宮病院機構では、障害児の施設もあり、医療以外の部分も行っていきます。個室の値段も一市民が長く滞在するには非常に厳しい料金設定をされていますので、そういったことも将来的に検討していただければと思ひます。</p>
委員長	<p>他は何かございますか。経営的な部分はもちろんですけど、常に患者に寄り添って、安全・安心で、独立行政法人の性質上、医療の王道を行っていただければと思ひますので、よろしくお願ひします。 それでは全体評価になります。何かご意見はございますか。委員の皆様から一言づついただいておりますが、私のほうからは、患者にいつも寄り添って、医療の王道をいっていただきたいと思ひます。今のモチベーションをできるだけ維持</p>

	<p>して安全・安心な病院を目指していただければと思います。 委員はいかがですか。</p>
委員	<p>ほんとに6年連続黒字というすばらしい成績で、中長期的に成長できるように方法を考えていただければと思います。地域医療構想も医師確保計画も県南の中での話し合いになるので、独自の取組みは其中で考えていくと思うのですが、問題は、働き方改革ですよね。都内の中堅の急性期病院は同期が入ると宿直体制が宿直というのが認められなくて、外科系は自分達のメンバーで当直が出来なかった。他のところから当直だけ来てやってもらっている。都内は大学病院がたくさんあるので、そういうところから人を確保することもできるが、大学病院自体も働き方改革の中で、平日に当直ができなくなる。人が出せなくなる。そこをどうやって整理していくのかを考えていかなければならない。我々が考えているのは、当直と宿直で切り分けて、分業することも可能なんですけど、60人規模の病院ですと、宿直規定というのが、例えば10時～6時まで宿直というのも可能なようなんですね。10時～6時までの救急車をどうするかというのを地域の中でも検討していかなくてはなりませんので、相談させていただきますので、よろしくお願い致します。</p>
委員	<p>第一線で働いている医師・看護師が疲弊しないような体制を作ってほしいと思います。多くの病院を見ていて、事務職がいかに現場のモチベーションを上げるような創意工夫をするかというのが大事なので、事務職もチーム医療の一員なので、どうやったら一生懸命働いてもらえるかを真剣に考えられたらいいと思います。</p>
委員	<p>やはり30年度は計画を上回るいい成績だと思います。特に医業収益が増加していることは評価されることだと思います。今後、若い医師、看護師が定着して行って、人件費が増加したり、消費税率が上がったり、経費の面で増えていく要素があるので、今後それを上回るような医業収益の増加が図れるようにがんばっていただきたいと思います。</p>
委員	<p>すばらしい業績を高く評価したいということと、中長期的なことに備えていただきたいと2点書かせていただきましたが、先ほど副委員長がおっしゃったように働き方改革ですね。できることならば、国に合わせていくのではなく、国を超えて行っていただきたい。何が超えていくことなのかというのは、模索している最中ですが、これに縛られてしまいますと経営体としてやわらかさを失いますので、是非超えていただきたいというのが1点。あとは中長期的に予想される苦境に対してこれも何かということですが、まだまだ資本基盤が弱いというところですね。例えば、今何かあった時に退職金の備えがあるかということも資本基盤です。こういったことを備えるということも非常に重要な中長期的戦略だと思いますので、是非続けていただければと思います。お疲れ様でした。</p>
委員	<p>最後の全体評価にも書きましたが、一市民が市民病院のこれからを期待しておりますので、市民に寄り添った病院であってほしいということと、独立行政病院であっても市が設立した事業体ということをお頭に置いていただきたいと思います。また、市民や他にも色々な関係機関がございますので、連携して地域包括ケアシステムを構築していただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。それでは今の全体の評価を踏まえて、今後の進め方等につきまして、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>皆様には貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。皆様からい</p>

	<p>ただいた評価に基づいて、評価結果（案）を作成いたしまして、皆様にお送りさせていただきます。ただ、スケジュールの関係で郵送ができない場合には、メールか FAX のほうで送らせていただくことをご承知おきくださいますようお願い致します。最終的には委員長と評価結果をまとめさせていただきます。その点につきましてご了解いただければと思います。取りまとめました評価結果につきましては、今月末 31 日水曜日、午後 1 時に市長に評価結果を提出させていただきます。その際には、委員長と副委員長に答申をお願いしたいと思います。議事録につきましては発言者の名前を省かせていただいてホームページに掲載させていただきたいと思います。皆様には事前にご確認いただきまして、修正等ある場合には、ご連絡をいただければと思います。簡単ではございますが、説明を終わります。</p>
委員長	<p>それでは、事務局から送られてくる評価結果をご確認いただければと思います。 以上で第 2 回評価委員会を終了いたします。お疲れ様でした。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。以上を持ちまして、第 2 回評価委員会を終了致します。長時間にわたりありがとうございました。</p>

以上